



デスクトップオーディオシステム

TSX-B141

取扱説明書

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございます。

ご使用前に本書の「安全上のご注意」(i~iiiページ)を必ずお読みください。

- 製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共にいつでも見られるところに大切に保管してください。
- 保証書に「購入日、販売店名」が正しく記入されていることを必ずご確認ください。



保証書別添付

J

安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という禁止を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音がる。
 - 異常に高温になる。
 - 内部に水や異物が混入した。● 煙が出る。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
- ステーブルで止めない。● 加工をしない。
- 熱器具には近づけない。
- 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ずAC 100V (50/60Hz) の電源電圧で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源コード/プラグは、必ず付属のものを使用する。また、付属の電源コードをほかの製品に使用しない。

故障、発熱、火災などの原因になります。



禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因になります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。

液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。



禁止

電池を加熱・分解したり、直射日光にさらしたり、火や水の中へ入れない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。
● 浴室・台所・海岸・水辺
● 加湿器を過度にきかせた部屋
● 雨や雪、水がかかるところ
水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため本機を設置する際には：
● 布やテーブルクロスをかけない。
● 仰向けや横倒しには設置しない。
● 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
(本機の周囲に左右10cm、上15cm、背面10cm以上のスペースを確保する。)
本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。



必ず実行

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用する。
本機が発生する電波により、ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



禁止

医療機関の屋内など医療機器の近くで使用しない。
電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。

使用上の注意



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。
水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。



禁止

CD挿入口や、放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。
火災や感電の原因になります。

手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。
ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード



必ず実行

本機を主電源から完全に切り離すには、電源プラグをコンセントから抜く。
本体の電源ボタンでスタンバイ状態にしても、本機はまだ通電状態にあります。



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントには使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。



禁止

ACアダプターは、布や布団でおおったり、つつんだりしない。
熱がこもり、ケースが変型し、火災の原因となることがあります。

電池



必ず実行

電池は極性表示（プラス+とマイナス-）に従って、正しく入れる。
間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



電池は幼児の手の届かない所に保管する。
口に入れてたりすると危険です。

必ず実行



指定以外の電池は使用しない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

禁止



電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。
電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

禁止



長時間使用しない場合は、電池を電池ケースから抜いておく。
電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本機を損傷するおそれがあります。

必ず実行



使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外し、自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

必ず実行

設置



不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。

禁止



直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。

禁止



ほこりや湿気の多い場所には設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。

禁止



他の電気製品とはできるだけ離して設置する。
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

必ず実行



屋外アンテナ工事は販売店に依頼する。
工事には、技術と経験が必要です。

必ず実行

移動



移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。

接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

プラグを抜く

使用上の注意



再生の前には、音量（ボリューム）を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。

必ず実行



音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。

禁止



環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。
正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。

注意



ブラウン管を使用したディスプレイから離して設置する。
色むらが起きることがあります。

注意



外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続する。

必ず実行



CD挿入口には手を入れない。
本機のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因になります。

禁止



ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクを使用しない。
ディスクは、機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因になります。

禁止



レーザー光源をのぞき込まない。
レーザー光が目当たると、視覚障害の原因になります。

禁止



大きな音で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。

禁止

お手入れ



お手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。

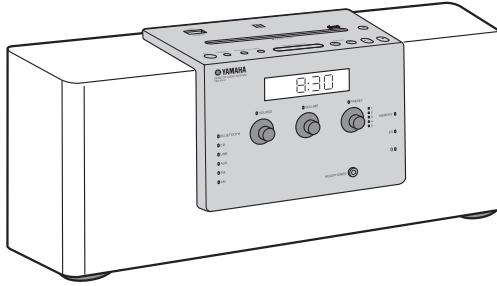
必ず実行



薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。柔らかい布で乾拭きするか、汚れがひどいときは、水を布に含ませ、よくしぼって拭き取ってください。

禁止

本機でできること



多彩な音楽ソースを音質重視で

- オーディオ / データ CD、USB 機器（USB メモリー）の再生、AUX を使った外部機器の再生、ラジオの受信ができます。
- Bluetooth による無線接続でクリアな音声をお楽しみいただけます（※ P. 10）。
- 3 バンド（低音 / 中音 / 高音）イコライザーを搭載し、お好みの音質で音楽を楽しめます（※ P. 14）。

使いやすさにこだわった便利機能

- ワンタッチでペアリングできます（※ P. 11）。
- お好みのラジオ放送局を FM/AM それぞれ 5 局までかんたんに登録 / 呼出できます。
- 本機上面の USB ポートでスマートフォンやタブレットなどの充電が可能。

毎日を彩るアラーム機能 (IntelliAlarm)

インテリアラーム

お好みの音楽やピープ音を使ったアラーム（目覚まし）機能が利用できます。設定時刻になると、設定した音楽がお好みの音量で流れ、快適な目覚めを提供します（※ P. 15）。

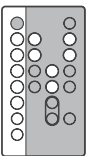
専用アプリで簡単操作

コントローラー

無料アプリケーション「DTA CONTROLLER」をお使いいただくことで、アプリケーションから本機を操作したり、より多彩なアラーム機能を利用できたりします（※ P. 2）。

付属品

リモコン

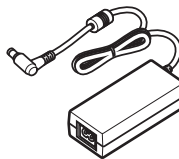


(CR2025 型ボタン電池使用)

電源コード



AC アダプター



(DC 15 V、2.56 A 以上
モデルナンバー：
EADP-38EB A)

FM アンテナ



AM アンテナ



USB キャップ



ご注意

USB キャップは、お子様が飲み込まないように、お子様の手の届かないところに保管してください。

目次

はじめに

DTA CONTROLLER をインストールする	2
各部名称とその機能	3
時計を設定する	7

音楽を聴く

CD、USB 機器の音楽を聴く	8
Bluetooth 機器の音楽を聴く	10
ラジオを聴く	13
外部機器の音楽を聴く	14
音質を調整する	14


各種設定、その他

アラーム機能を使う	15
スリープタイマーを使う	19
前面ディスプレイの明るさを調節する	20
故障かな?と思ったら	21
ディスクおよび USB 機器について	24
主な仕様	25

◆ 本書について

- 本体とリモコンのどちらでも操作できる場合は、本体の操作を記載しています。
- 本書で使用されている記号

ご注意 使用時の注意点や機能の制約が記載されています。

 知っておくと便利な補足情報が記載されています。

DTA CONTROLLER をインストールする

「DTA CONTROLLER」はスマートフォン / タブレット用コントロールアプリです。お使いのスマートフォンや iPhone、タブレットにインストールすると、本機をより便利に使用できます。

主な機能

- 再生ソースの切り替え
- 音量の調節、音質の調整
- アラーム機能 (IntelliAlarm) の設定 (※ P. 18)
- スマートフォン / iPhone / タブレット内の音楽を再生



本機とお使いの端末を **Bluetooth** で接続することが必要です (※ P. 10)。

仕様、および外観は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。



<http://itunes.com/app/dtacontroller>

Google Play™



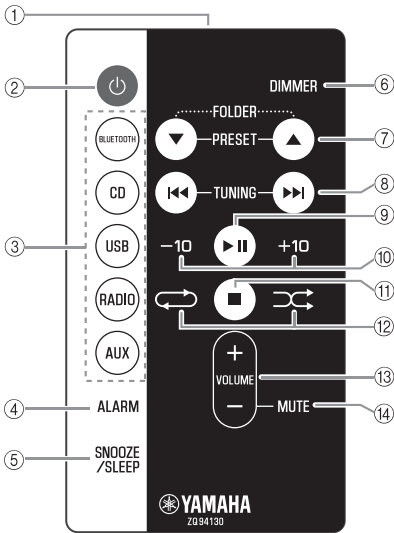
<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.yamaha.av.dtacontroller>

ご注意

アクセスできない場合は、App Store または Google Play にて「DTA CONTROLLER」を検索してください。

各部名称とその機能

リモコン

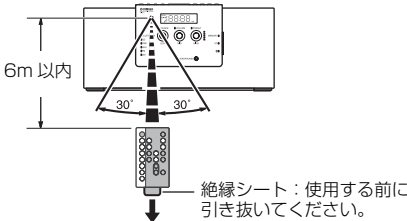


- ① リモコン信号送信部
- ② 電源 (電源)
電源オン / スタンバイを切り替えます。
- ③ ソースボタン
再生するソースを切り替えます。
- ④ ALARM (アラーム)
アラーム機能のオン / オフを切り替えます。
- ⑤ SNOOZE/SLEEP (スヌーズ / スリープ)
スリープタイマーの設定や、アラームのスヌーズ機能を操作します (※ P. 17, 19)。

- ⑥ DIMMER (ディマー)
前面ディスプレイの明るさを調節します (※ P. 20)。
- ⑦ ▲ / ▼ (プリセット)
・ PRESET
ラジオを聴くとき、登録されたラジオ局を呼び出します。
・ FOLDER (フォルダー)
データ CD、USB 機器再生時に再生するフォルダーを切り替えます。
- ⑧ ◀ / ▶ (再生)
曲の再生中：曲をスキップします。
長押しすると、早戻し / 早送りができます (※ P. 8)。
ラジオの受信中：ラジオをチューニングします (※ P. 13)。
- ⑨ ▶ || (再生 / 一時停止)
再生 / 一時停止します。
- ⑩ +10 / -10
10 曲スキップします。
- ⑪ ■ (再生停止)
再生停止します。
- ⑫ ↺ (リピート) / ↻ (シャッフル)
オーディオ / データ CD、USB 機器をリピート / シャッフル再生します (※ P. 9)。
- ⑬ VOLUME +/- (ボリューム)
音量を調節します。
- ⑭ MUTE (ミュート)
消音 / 消音の解除を行ないます。

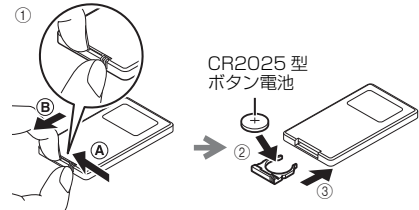
リモコンを使用する

本体前面のリモコン信号受光部に向け、以下の範囲内で操作してください。

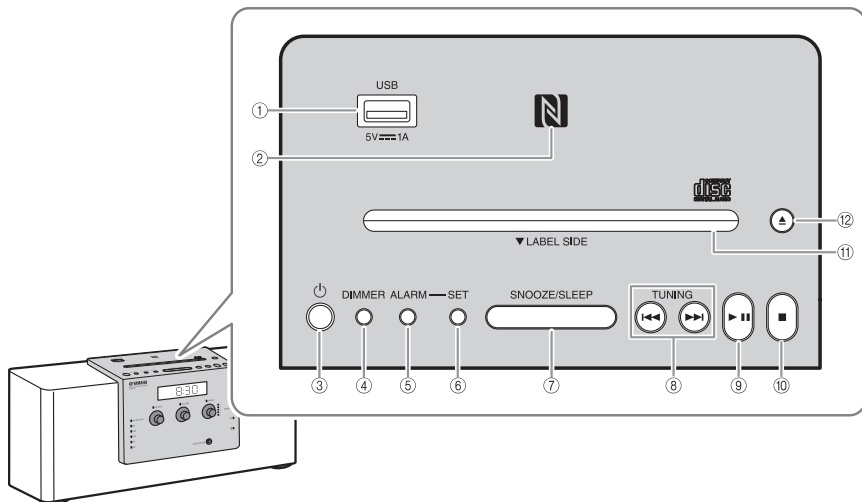


リモコンの電池を交換する

- ① A の方向にツマミを押しこみながら、電池ケースを
- ② B の方向に引き出してください。



上面



① USB ポート

- USB 機器を接続し、再生します (※ P. 8)。
- USB ケーブルでスマートフォンなどのポータブル機器を接続したときに、接続した機器を充電できます (5V/1A 出力 ※ P. 9)。

② NFC マーク

NFC テクノロジーを使った、かんたんペアリングが行なえます (※ P. 11)。

③ 電源

電源オン / スタンバイを切り替えます。前面の時計は、スタンバイ時でも表示されます。



- 本体の電源ボタンを 3 秒以上押し続けると、エコスタンバイに切り替わります。その場合は、前面ディスプレイの表示が消え、電力の消費を抑えられます。エコスタンバイを解除するには、再度本体の電源ボタンを押します。
- スタンバイおよびエコスタンバイ時でもアラーム機能は動作します。

④ DIMMER

前面ディスプレイの明るさを調整します (※ P. 20)。

A (オート) → 3 (明るい) → 2 → 1 (暗い)
→ A へ戻る



A (オート) に設定した場合、自動的に室内の明るさに適した明るさに調整します。

⑤ ALARM

アラームのオン / オフ設定を行います (※ P. 16)。

⑥ SET

アラーム設定のときに使います (※ P. 15, 18)。

⑦ SNOOZE/SLEEP

スリープタイマーの設定や、アラームのスヌーズ機能を操作します (※ P. 17, 19)。

⑧ TUNING

再生するトラックやファイルの切り替え、ラジオのチューニングなどを行ないます。曲の再生中に長押しすると、早戻し / 早送りが行なえます (※ P. 8, 13)。

⑨ ▶▶

曲の再生 / 一時停止などを行ないません (※ P. 8)。

⑩ ■

曲を停止します。

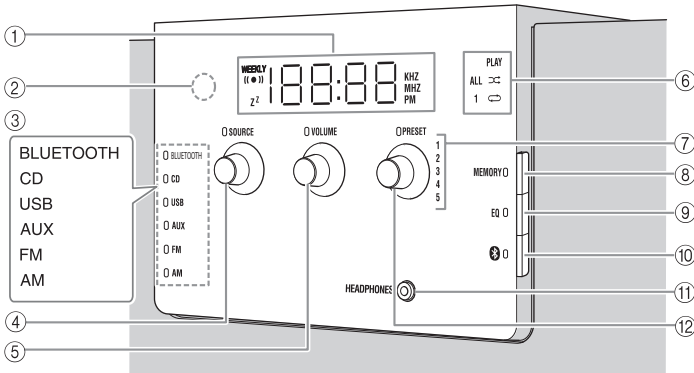
⑪ CD 挿入口

CD を挿入します (※ P. 8)。

⑫ ▲

CD を取り出します (※ P. 8)。

前面

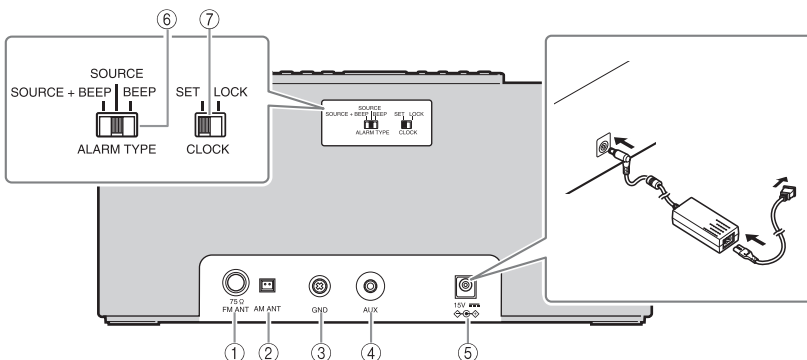


- ① **前面ディスプレイ**
時計やさまざまな情報を表示します。
- ② **照度センサー**
周囲の明るさを感知します。センサーが隠れないようにしてください。
- ③ **ソースインジケータ**
選択中のソースを表示します。
- ④ **SOURCE**
ソースを切り替えます。
- ⑤ **VOLUME**
音量を調整します。
- ⑥ **プレイ、シャッフル、リピートインジケータ**
再生状態を表示します (P. 9)。
- ⑦ **プリセットインジケータ**
放送局のプリセット番号を表示します (P. 13)。
- ⑧ **MEMORY**
放送局を登録します (P. 13)。
- ⑨ **EQ**
音質を調整します (P. 14)。
- ⑩ **(Bluetooth)**
Bluetooth 接続または切断します (P. 12)。
- ⑪ **HEADPHONES**
ヘッドフォンを接続します。
- ⑫ **PRESET**
 - データ CD、USB 機器再生時：フォルダを切り替えます (P. 9)。
 - ラジオ受信時：プリセット局を選択します (P. 13)。

◆ オートスタンバイについて

- オートスタンバイによって、本機は電源オンのときに、以下の通り動作します (初期設定)。
 - CD/USB で再生停止されている場合や、チューナーや外部接続機器の入力がなかったり、ごく小音量での再生が一定時間 (約 20 分間) 続いた場合、本機は自動的にスタンバイになります。
 - 何も操作しない状態が 8 時間以上続くと、本機は自動的にスタンバイになります。
- オートスタンバイを有効 / 無効にする
 - 1 本機の **電源ボタン** を押しながら、電源コードをコンセントに差し込む。
 - 2 **電源ボタン** を押し続ける。
 オートスタンバイが切替わり、**TUNING**、**SOURCE**、**VOLUME**、**PRESET** の LED が点滅し、前面ディスプレイに以下のメッセージが表示されます。
 - オートスタンバイを有効にしたとき：On
 - オートスタンバイを無効にしたとき：Off

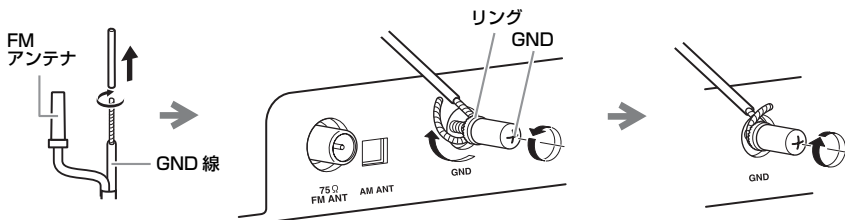
背面



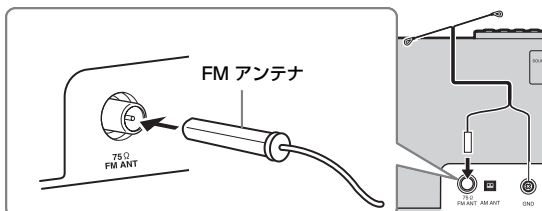
- ① **FM アンテナ端子**
付属の FM アンテナを接続します。
- ② **AM アンテナ端子**
付属の AM アンテナを接続します。
- ③ **GND**
FM アンテナの GND 線を接続します (下図参照)。
- ④ **AUX**
外部機器を接続します (P. 14)。
- ⑤ **15V**
AC アダプターと電源コードを接続してください。
- ⑥ **ALARM TYPE**
アラームタイプ
アラームタイプを切り替えます (P. 15)。
- ⑦ **CLOCK**
クロック
時計を設定します (P. 7)。

FM アンテナを接続する

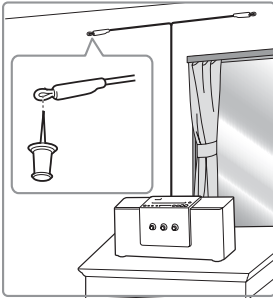
GND 線の接続を終えたあとに FM アンテナ端子を接続することをおすすめします。



- ① コードの被覆部を外して、先端をひねって束ねてください。
- ② GND 端子を回して最後まで引き出し、GND 端子のリングの内側にコードを巻きつけてください。
- ③ コードが端子から外れないよう注意して GND 端子を締めてください。



- ④ 付属の FM アンテナを接続します。

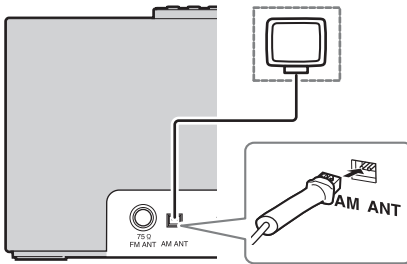


5 最もよく受信する位置にピンで固定してください。

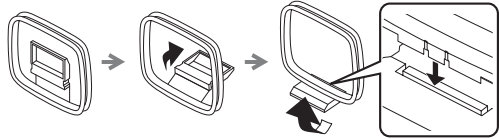
ご注意

- アンテナはしっかりと張ってください。
- 付属のアンテナの代わりに屋外アンテナを使用すると受信状態が良くなります。
- 受信状態が悪い場合は、アンテナの高さや方向、設置場所を変えてください。
- FM ラジオ受信と USB 充電を同時に行っている際には、受信中のラジオ放送にノイズが発生する場合があります。その場合は USB ケーブルを抜いてください。

AM アンテナを接続する



AM アンテナの組立

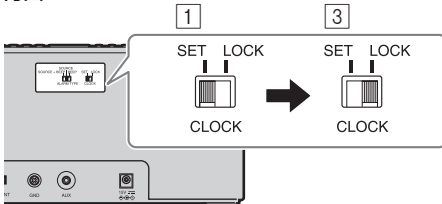


ご注意

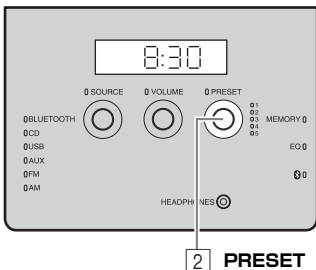
- 受信状況の良い場所を探して、アンテナを配置してください。
- アンテナの近くにデジタル機器等があると影響を受ける場合があります。

時計を設定する

背面



前面



1 **CLOCK** を SET にする。

2 時刻を合わせる。

PRESET で時刻を合わせます。



- ステップ 2 で SNOOZE/SLEEP を押すと、時間表示 (12 時間 / 24 時間) を選択できます。
- 「PM」の表示は 12 時間表示を選択した場合のみ表示されます。

3 **CLOCK** を ^{ロック} LOCK に合わせ終了する。

LOCK に合わせた時点をも 00 秒として、時計が設定されます。

ご注意

電源コードをコンセントから抜くなどして、電力が 1 週間以上供給されないと、時計の設定はリセットされます。

CD、USB 機器の音楽を聴く

CD/USB 機器の再生時、本機は次のように動作します。

- 再生中の CD/USB 機器を停止した場合、次回は再生していた曲の始めから再生されます。
- 再生停止中にリモコンの **■** を押し、次回再生時以下のように再生されます。
 - オーディオ CD を再生しているとき：CD の最初から再生
 - データ CD、USB 機器を再生しているとき：前回停止した曲があるフォルダの最初の曲から再生
- オートスタンバイが有効のとき、CD/USB 機器の再生を停止した後に 20 分以上操作しない場合は、自動的にスタンバイになります。



再生できるディスク、ファイルについては、「ディスクおよび USB 機器について」(P. 24) を参照してください。

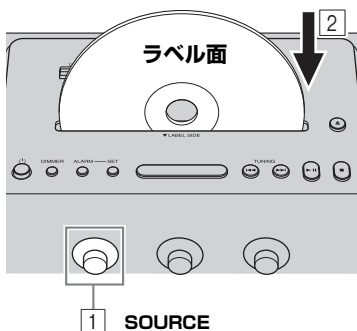
CD/USB 機器の再生中は、以下のキーで各種操作が行なえます。

操作ボタン	動作	
上面 / リモコン	▶	曲の再生 / 一時停止
	◀◀/▶▶	曲のスキップ 早戻し / 早送り (長押し)
	■	再生停止
上面	▲	CD の取り出し

操作ボタン	動作	
リモコン		リピート再生の設定 (P. 3)
		シャッフル再生の設定 (P. 3)
	+10/-10	曲のスキップ 10 曲進む / 10 曲戻る
	▲/▼	再生するフォルダの変更 (データ CD および USB 機器のみ対応)

◆ CD の再生

上面 / 前面



① SOURCE を CD にする。

② ラベル面を手前にして CD 挿入口に CD を挿入する。

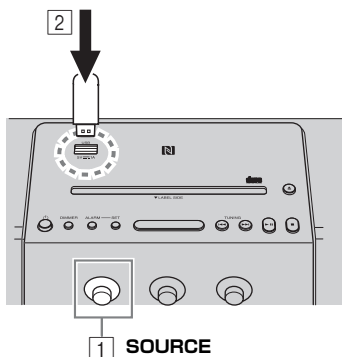
自動的に再生が始まります。リモコンと本機のどちらからでも操作できます。

◆注意

- CD のラベル面を手前に入れてください。
- エコスタンバイ (P. 4) のときは、CD の挿入 / 取り出しはできません。

◆ USB 機器の再生

上面 / 前面



① SOURCE を USB にする。

② USB 機器を接続する。

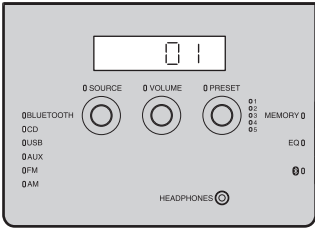
自動的に再生が始まります。リモコンと本機のどちらからでも操作できます。



USB 機器を取り外すときは再生を停止してください。

◆ 表示情報

前面



データ CD/USB 機器の再生中に **PRESET** でフォルダを選択すると、再生するフォルダをスキップできます。

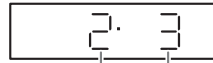
再生開始時やスキップ時などに、曲、フォルダ、ファイル番号が少しの間表示されます。

オーディオ CD 再生時



曲番号

データ CD/USB 機器再生時



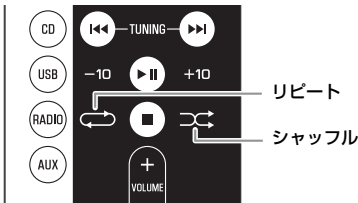
ファイル番号

フォルダ番号


リピート / シャッフル再生する

再生状態は前面ディスプレイのプレイ、シャッフル、リピートインジケータで確認できます。


リモコン



◆ リピート再生

リモコンの  (リピート) を繰り返し押して、以下から再生方法を選択してください。


 **1**  : 1 曲


 : フォルダ内の全曲 (データ CD/USB 機器のみ)

 **ALL** : 全曲

非表示 : リピートオフ

◆ シャッフル再生

リモコンの  (シャッフル) を繰り返し押して、以下から再生方法を選択してください。

 : フォルダ内の全曲 (データ CD/USB 機器のみ)

 **ALL** : 全曲

非表示 : シャッフルオフ

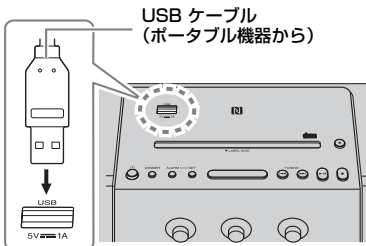


選択された再生ソースがフォルダを含んでいる場合、フォルダ単位のリピート/シャッフルも選択できます。

◆ USB 給電について

USB ケーブルでスマートフォンなどのポータブル機器を接続したときに、接続した機器を充電できます (5V/1A 出力)。

上面



◆ ご注意

- ポータブル機器によっては充電できない場合があります。
- 本機は iPad の充電には対応していません。
- どの音楽ソースが選択されていても、本体の電源がオンであれば充電可能です。スタンバイ中も充電できます。
- 本機を使用中に万が一、ポータブル機器の故障やメモリー内容の消去等が発生した場合でも当社では一切責任を負いかねます。
- 充電が完了しても接続したポータブル機器には電力が供給され続けますので、充電完了後は速やかに USB ケーブルを抜いてください。

Bluetooth 機器の音楽を聴く

本機は Bluetooth 機能を搭載しています。Bluetooth 機器（スマートフォン、デジタル音楽プレーヤーなど）の音楽をワイヤレスでお楽しみいただけます。ご使用の際には、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機と Bluetooth 機器をペアリングする

ペアリングとは、通信を行なう機器（以下「接続機器」）を本機に登録する操作です。Bluetooth 機器を初めて本機と Bluetooth 接続するときやペアリング情報が削除されたときには、ペアリングを行なう必要があります。一度ペアリングが完了すると、以降は Bluetooth 接続を切断しても簡単に再接続できます。ペアリングできない場合は、「故障かな?と思ったら」の「Bluetooth」の項（※P. 22）を参照してください。

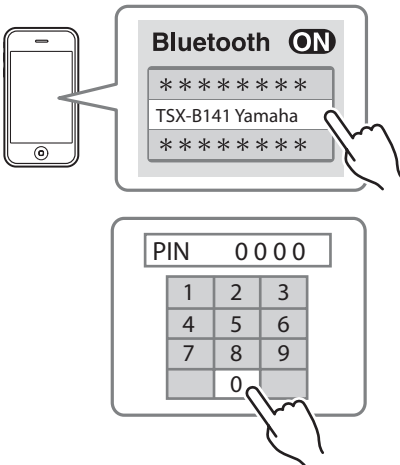
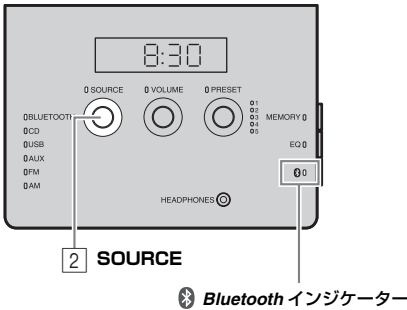


- 本機は最大 8 台の接続機器とペアリングできます。9 台目の接続機器とのペアリングが成功すると、最後に接続した日時がもっとも古い機器のペアリング情報が削除されます。
- 本機が別の機器と Bluetooth 接続している場合は、Bluetooth 接続を切断してからペアリングを行なってください（※P. 12）。

ご注意

本機はすべての Bluetooth 機器との接続を保証するものではありません。

前面



1 電源ボタンを押して本機を電源オンにする。

2 SOURCE を Bluetooth に切り替える。

◆ iPod touch/iPhone/iPad の場合

3 iPod touch/iPhone/iPad の「設定」→「Bluetooth」をオンにする。

「デバイス」に Bluetooth 接続リストが表示されます。（お使いの iPod touch/iPhone/iPad によっては、手順や表示が異なる場合があります。）

4 接続機器の Bluetooth 接続リストから本機（TSX-B141 Yamaha）を選ぶ。

ペアリングが完了すると、iPod touch/iPhone/iPad に「接続されました」と表示されます。本機の前面ディスプレイの Bluetooth インジケータが点灯します。

◆ iPod touch/iPhone/iPad 以外の場合

3 接続機器で Bluetooth のペアリングを行なう。詳しくは接続機器の取扱説明書を参照してください。

4 接続機器の Bluetooth 接続リストから本機（TSX-B141 Yamaha）を選ぶ。

ペアリングが完了すると、本機の前面ディスプレイの Bluetooth インジケータが約 1 秒間点灯します。

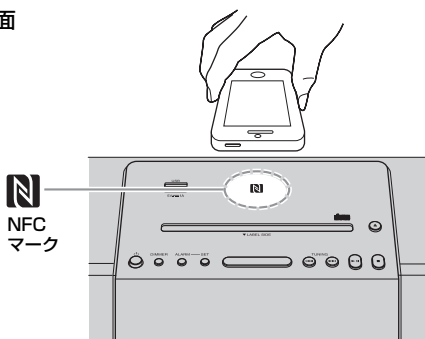


パスキーの入力を要求されたら、数字で「0000」を入力してください。

◆ かんたんペアリング

NFC（近距離無線通信）機能搭載スマートフォンなら、本機の NFC マークにスマートフォンをかざすだけでかんたんにペアリングできます（あらかじめ本機を電源オンにし、スマートフォンの NFC 機能をオンにしてください）。

上面



- ① 電源ボタンを押して本機を電源オンにする。
- ② NFC マークにスマートフォンをかざす。
- ③ スマートフォンでペアリング操作をする（詳しくはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください）。

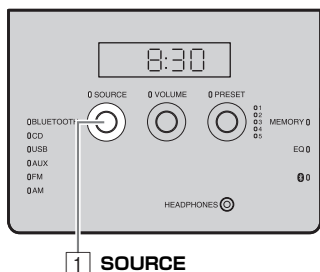
本機はスマートフォンに「TSX-B141 Yamaha」と表示されます。



- パスキーの入力を要求された場合は、数字で「0000」を入力します。
- 接続がうまくいかないときは、スマートフォンを NFC マークの上でゆっくり動かしてください。
- スマートフォンにケースが装着されている場合、ケースを外してください。

Bluetooth 機器を再生する

前面



- ① ソース **SOURCE** を **BLUETOOTH** に切り替える。
- ② 本機と接続機器を **Bluetooth** 接続する。
- ③ 接続機器の音楽を再生する。

ご注意

本機の音量設定を大きくしすぎないようにしてください。



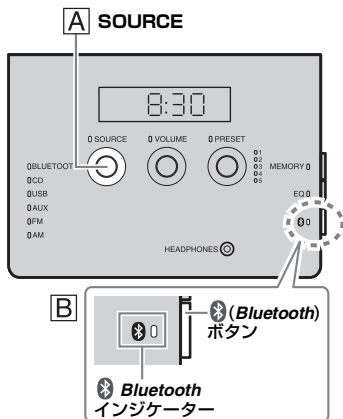
- 本機がスタンバイのときに接続機器から Bluetooth 接続して音楽を再生すると、本機は自動的に電源オンになります。
- 再生ソースが Bluetooth のときに接続機器から Bluetooth 接続を切断すると、本機は自動的にスタンバイになります。
- オートスタンバイが有効で再生ソースが Bluetooth に設定されている場合、Bluetooth 接続がなく操作もされない状態が 20 分続くと、本機は自動的にスタンバイになります。

ペアリング済みの機器を Bluetooth 接続する

ペアリングが完了した Bluetooth 機器は簡単に接続できます。

◆ 本機から接続する

前面



以下のA、Bいずれかの方法で接続してください。

A SOURCE を BLUETOOTH に切り替える。

B 本体前面操作部右側の Bluetooth ボタンを押す。

前面ディスプレイの Bluetooth インジケータが点滅し、本機が最後に接続した接続機器を探して接続します（あらかじめ接続機器の Bluetooth 設定をオンにしておいてください）。Bluetooth 接続が完了すると、Bluetooth インジケータが点灯します。

◆ 接続機器から接続する

① 接続機器の Bluetooth 設定で、Bluetooth をオンにする。

② 接続機器の Bluetooth 接続リストから本機 (TSX-B141 Yamaha) を選ぶ。

Bluetooth 接続が完了し、本機の前面ディスプレイに Bluetooth インジケータが点灯します。

◆ NFC を使って接続する

ペアリング済みの NFC 機能搭載スマートフォンの場合、NFC マークにかざすと接続されます。

ご注意

本機がエコスタンバイ時は、接続機器からの Bluetooth 接続はできません。本機を電源オンにしてください。

Bluetooth 接続を切断する

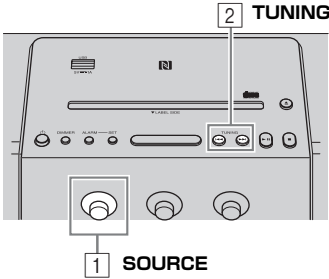
Bluetooth 接続中に以下のいずれかの操作を行なうと、Bluetooth 接続が切断されます。

- 本体の Bluetooth ボタンを押す。（またはリモコンの Bluetooth を長押しする。）
- 本機をスタンバイにする。
- 接続機器の Bluetooth 設定をオフにする。
- Bluetooth 接続中の NFC 機能搭載スマートフォンを NFC マークにかざす。

ラジオを聴く

放送局を選ぶ

上面 / 前面



- 1 SOURCE を FM または AM にする。
- 2 ◀▶ を押してチューニングする。

チューニング方法	チューニング TUNING の操作
自動チューニング	◀▶ の一方を長押しします。
手動チューニング	◀▶ の一方を繰り返し押しします。

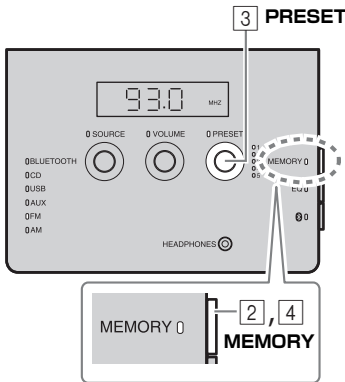
ご注意

手動でチューニングした場合、ラジオの音声はモノラルになります。

放送局を登録する (プリセット)

プリセット機能を使って、FM/AM それぞれ 5 局まで登録できます。

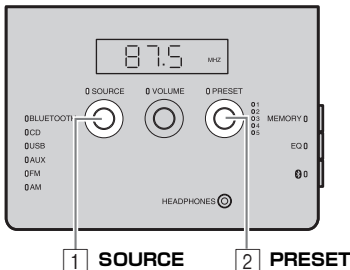
前面



- 1 登録したい放送局を選ぶ。
 - 2 MEMORY を押す。
 - 3 PRESET で登録したいプリセット番号を選ぶ。
- ☀
登録を途中でキャンセルするには、TUNING を押してください。
- 4 MEMORY を押して終了する。
登録が完了します。

登録した放送局を選ぶ (プリセット選局)

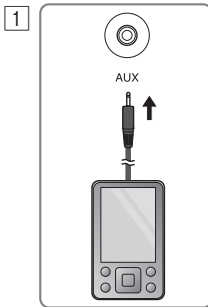
前面



- 1 SOURCE を FM または AM にする。
- 2 登録した放送局を PRESET で選択する。
(または、リモコンの ▲ / ▼ を押します。)

外部機器の音楽を聴く

背面



オーディオケーブルの接続は、本機をスタンバイにしてから行ってください。

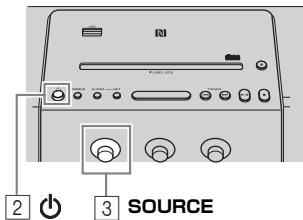
- 1 市販の 3.5 mm ミニプラグケーブルで背面の AUX と外部機器を接続する。

ご注意

接続する前に本機と外部機器の音量を十分に下げてください。

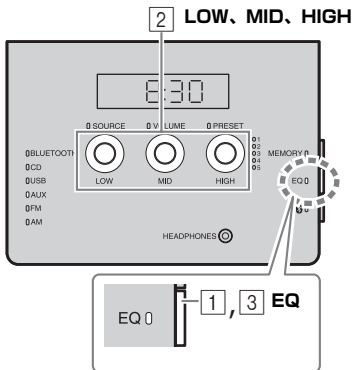
- 2 電源ボタンを押して電源オンにする。
- 3 SOURCE を AUX にする。
- 4 接続した外部機器を再生する。

上面 / 前面



音質を調整する

前面



- 1 再生中に EQ を押す。
ロー、ミッド、ハイ
LOW、MID、HIGH が点滅します。
- 2 LOW、MID、HIGH で低音、中音、高音の音質を調整する。
音域ごとに、-5 ~ +5 の範囲で調節できます。
- 3 EQ を押して設定を終了する。

アラーム機能を使う

インテリアラーム

IntelliAlarm

本機には、音楽ソースやビープ音（内蔵アラーム音）をさまざまな方法で設定時刻に再生するアラーム機能（IntelliAlarm）が搭載されています。本機のアラーム機能には次の特徴があります。

◆ 3つのアラームタイプ

音楽と「ピピピ」というビープ音を組み合わせた、3つのアラームタイプが選択できます。

ソース SOURCE+ ビープ BEEP	音楽ソースとビープ音を設定時刻に再生します。快適な目覚めを提供するお勧めの設定です。 アラーム時刻の3分前：音楽ソースの再生を始め、アラーム時刻に向けて徐々に音量が大きくなります。 アラーム時刻：音楽ソースに加え、ビープ音を再生します。
ソース SOURCE	音楽ソースを設定時刻に再生します。小さい音量から再生を始め、設定した音量まで音量が徐々に大きくなります。
ビープ BEEP	設定した時刻にビープ音を再生します。

◆ さまざまな音楽ソース

オーディオ CD、データ CD、USB 機器またはラジオが選択できます。音楽ソースによって、次のように再生方法を選択できます。

音楽ソース	再生方法	機能
オーディオ CD	曲	指定選択した曲を繰り返し再生します。
	レジューム再生	最後に再生していた曲を再生します。
データ CD/USB	フォルダー	指定選択したフォルダーを繰り返し再生します。
	レジューム再生	最後に再生していた曲を再生します。
FM/AM ラジオ	プリセット局	指定選択したプリセット局がかかります。
	レジューム再生	最後に聴いていた放送局がかかります。

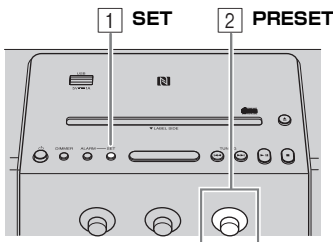
◆ スヌーズ機能

5分後に繰り返しアラームを再生するスヌーズ機能を使用できます（※ P. 17）。

アラームを設定する

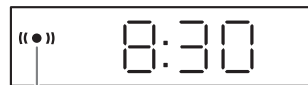
◆ アラームの時刻、タイプを設定する

上面 / 前面



① SET を押す。

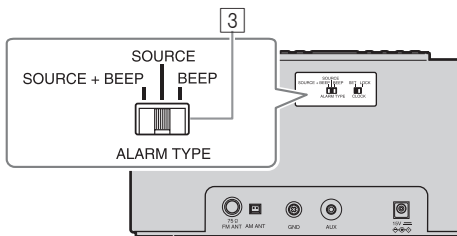
アラームインジケータ（((●))）および設定できる項目が点滅します。



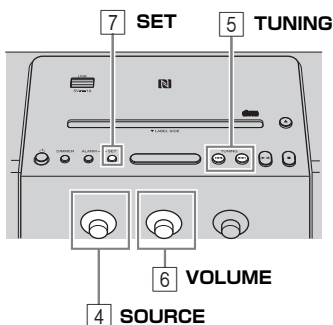
アラームインジケータ

② PRESET でアラーム時刻を設定する。

背面



上面 / 前面



- 3 ALARM TYPE でアラームタイプを設定する。

SOURCE+BEEP、SOURCE、BEEP から選択します。詳細については、「3つのアラームタイプ」(※ P. 15) を参照してください。

- 4 SOURCEでソースを選択する(必要な場合)。

SOURCE+BEEP、SOURCE を選択した場合、音楽ソースを設定してください。Bluetooth、AUX 以外のソースが選択できます。

- 5 TUNING で再生する曲、フォルダ、放送局を指定する(必要な場合)。

音楽ソースが CD/USB/FM/AM のとき、◀▶で再生する曲、フォルダ、放送局を指定します。



- CD/USB を選択した場合、曲番号、フォルダ番号指定時に「0」を選択すると、最後に再生した曲を再生します。

- FM/AM を選択した場合、放送局指定時にプリセット登録局を選択しないと(プリセットインジケータ(※ P. 5) 消灯)、最後に聴いていた放送局がかかります。

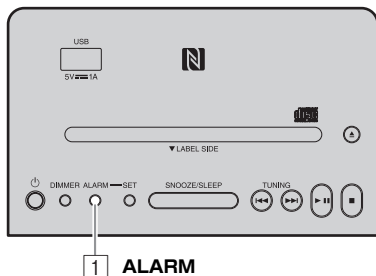
- 6 VOLUME でアラーム音量を設定する。

- 7 SET を押しして終了する。

アラームが設定され、アラームインジケータ(◻)が点灯します。

アラーム機能をオン / オフする

前面



- 1 ALARM を押す。

アラーム機能をオンにすると、アラームインジケータ(◻)が点灯し、アラーム時刻が数秒間表示されます。もう一度 ALARM を押すと、アラームインジケータ(◻)が消灯し、アラームがオフになります。アラームモードが Weekly Alarm(※ P. 18) の場合は、ウィークリーアラームインジケータ(WEEKLY) も点灯 / 消灯します。



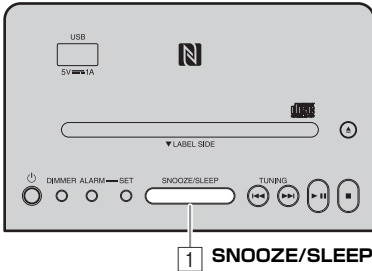
アラームを停止させても、アラーム時刻など設定した内容は保持されます。再度 ALARM を押してオンにすれば、前回の設定内容でアラームが再生されます。

アラーム再生中の操作

設定した時刻になると、選択したアラーム音が再生されます。再生中は下記の操作が可能です。

◆ アラームを一時的に止めたい場合（スヌーズ機能）

前面



① SNOOZE/SLEEP を押す。

スヌーズ機能により、5 分後に再度アラームを再生します。



• SNOOZE/SLEEP を

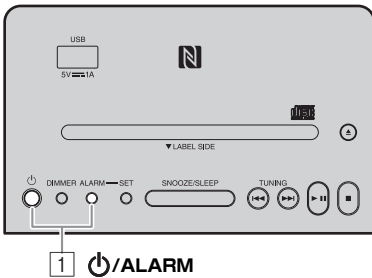
- 1 回押し：ビープ音が停止。
- 2 回押し：音楽ソースが停止（スヌーズ機能）。

↓
音楽ソース停止から4分後、徐々に音量を上げながら再び音楽ソースを再生。

- ↓
音楽ソース再生から 1 分後、ビープ音を再生。
• スヌーズ中はアラームインジケーターが点滅します。

◆ アラームを停止したい場合

前面



① ALARM または 電源ボタンを押す。



- アラーム音を停止しない場合、60 分後に自動的に停止します。
- アラームを停止させても、アラーム時刻など設定した内容は保持されます。再度 **ALARM** を押してオンにすれば、前回の設定内容でアラームが再生されます。

ウィークリー アラーム

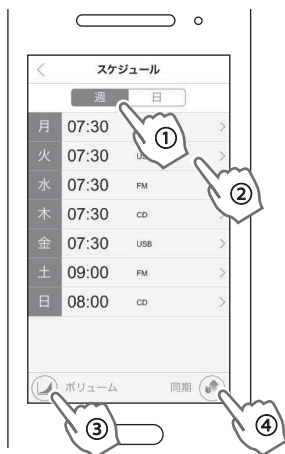
Weekly Alarm を設定する

コントローラー ウィークリー アラーム

◆ DTA CONTROLLER で Weekly Alarm を設定する

DTA CONTROLLER (※P. 2) を利用すれば、曜日ごとに時刻設定ができるアラーム (Weekly Alarm) をお使いいただけます。最初に DTA CONTROLLER で Weekly Alarm の設定をしてください。

インテリアアラーム設定画面



① DTA CONTROLLER 内の (インテリアアラームアイコン) をタップして、インテリアアラーム設定画面を開く。

② インテリアアラーム設定画面で、以下の操作を行なう。

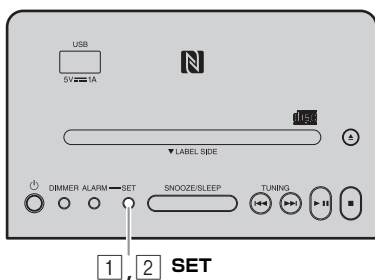
- ① [週] (Weekly Alarm) を選択する。
 - ② 各曜日のアラームを設定する。
 - ③ アラームの音量やインテリアアラームの詳細を設定する。
 - ④ [同期] をタップして設定を本機に転送する。
- Weekly Alarm 機能がオンになり、本機のアラームインジケータ () とウィークリーアラームインジケータ (**WEEKLY**) が点灯します。



◆ 本体で Weekly Alarm を設定する

一度 DTA CONTROLLER で Weekly Alarm を設定すると、本機のアラーム 設定画面で Weekly Alarm を選べるようになります。

上面



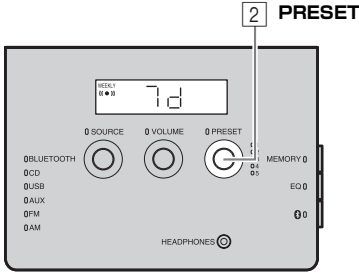
① **SET** を押す。

アラームインジケータ () が点滅し、アラームモード選択画面が表示されます。

② アラームモードを選ぶ。

PRESET を回してモードを選び、**SET** を押しして確認します。

前面



ワンデイアラーム
1d (One Day Alarm モード) :
指定した時刻に一度だけ鳴るアラーム



アラームインジケーター

ウィークリーアラーム
7d (Weekly Alarm モード) :
曜日ごとに時刻設定できるアラーム
([DTA CONTROLLER] でのみ設定
できます。)

ウィークリーアラームインジケーター
アラームインジケーター

Weekly Alarm モードを選ぶと、アラーム設定が完了し、アラームインジケーター (ⓘ●ⓘ) とウィークリーアラームインジケーター (WEEKLY) が点灯します。

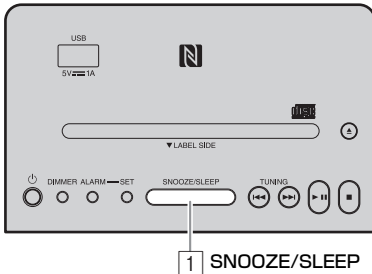
注意

Weekly Alarm の曜日設定が全てオフになっている時は Weekly Alarm を選べません。いずれかの曜日をオンにしてください。

スリープタイマーを使う

本機が自動的にスタンバイモードに入るまでの時間を設定します。

上面



① SNOOZE/SLEEP を何度か押し、スタンバイになるまでの時間を選ぶ。

スリープタイマーは 30、60、90、120 分から選択できます。

時間を選択すると、前面ディスプレイにスリープインジケーター (z z) が表示されます。



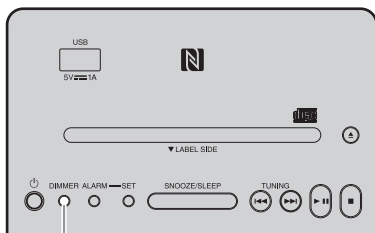
スリープインジケーター



スリープタイマーの動作中に SNOOZE/SLEEP を押し、スリープタイマーが解除されます。

前面ディスプレイの明るさを調節する

上面



1 DIMMER

1 DIMMER を押す。

ボタンを押すごとに以下のように設定が切り替わります。

A (オート) → 3 (明るい) → 2 → 1 (暗い)
→ A へ戻る

ご注意

オート
AUTO に設定した場合は、前面ディスプレイの照度センサー（※ P. 5）で周囲の明るさを感知します。センサーが隠れないようご注意ください。

故障かな?と思ったら

ご使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記をご確認ください。
 対処しても正常に動作しない、または下記以外で異常が認められた場合は、本機の電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

全般

症状	原因	対策
本機の電源が入らない。	電源コードがしっかり接続されていない。	電源コードをコンセントと本機にしっかりと接続し直してください。
	本機が落雷や過度の静電気など外部からの強い電気ショックを受けた。	電源コードをコンセントから抜いてください。約 30 秒後に電源を入れ直してください。
スピーカーから音が出ない。	音量が最小または消音に設定されている。	音量を調節してください。
	音楽ソースが正しく選択されていない。	正しい音楽ソースを選択してください。
	オートスタンバイが動いた。	本機を電源オンにし直してください。
音が突然出なくなる。	スリープタイマー (※ P. 19) を設定している。	本機を電源オンにして再生し直してください。
	オートスタンバイが動いた。	本機を電源オンにし直してください。
音割れ、音の歪み、異音がする。	入力した音楽ソースの音量が大きいの、または本機の音量 (とくに低音) が大きい。	VOLUME で音量を下げるか、EQ (※ P. 14) で低音を調節してください。
本機が正常に動作しない。 電源オンにしてもすぐにスタンバイになる。	本機が落雷や過度の静電気など外部からの強い電気ショックを受けた。	本機をスタンバイにして電源コードを抜いてください。約 30 秒後に電源コードをコンセントに差し、電源オンにしてください。
周囲に設置しているデジタル機器や高周波機器から雑音が出る。	本機とデジタル機器または高周波機器の位置が近すぎる。	本機とそれらの機器を離して設置してください。
時刻の設定内容が消えた。	本機への電力供給が 1 週間以上遮断されていた。	電力供給が 1 週間以上遮断されると、時刻設定がリセットされてしまうことがあります。この場合は時刻を再度設定してください (※ P. 7)。
アラームのソースを設定しても、アラーム時刻にソースが再生されない。	CD または USB が挿入されていない。	CD または USB を挿入してください。
	ALARM TYPE スイッチが BEEP に設定されている。	ALARM TYPE スイッチを SOURCE、または SOURCE+BEEP に設定してください (※ P. 15)。
時計が点滅していて、操作ができない。	CLOCK スイッチが SET になっており、時計設定中の状態になっている。	CLOCK スイッチを LOCK にしてください (※ P. 7)。
オートスタンバイが機能しない。	外部のノイズを拾う。	本機が携帯電話、無線機器、電子レンジ、蛍光灯などの近くにある場合は、本機を離してください。
前面ディスプレイが暗くなる。	前面ディスプレイの明るさの設定が AUTO になっている。	明るさの設定を AUTO 以外にしてください。または、照度センサーが隠れないようにしてください。
接続したポータブル USB 機器を充電できない。	本機に対応していない USB 機器を接続した。または、USB 機器が本機に正しく接続されていない。	🔌 を押して本機を一度スタンバイしてから、USB 機器を接続し直してください。もし、再度同じ症状が現れた場合は、接続された USB 機器はご使用できません。

ディスクの再生

症状	原因	対策
ディスクが挿入できない。	エコスタンバイになっている。	🔌 を押して、エコスタンバイ (※ P. 4) を解除してください。
	既にディスクが挿入されている。	▲ を押してディスクを取り出してください。
特定の機能が動作しない。	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機に対応ディスク情報および使用しているディスクの種類を確認してください (※ P. 24)。

故障かな？と思ったら

症状	原因	対策
本体またはリモコンの▶IIを押しても再生が始まらない（すぐに停止する）。	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れを拭きとってください。
	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類を確認してください（※ P. 24）。
	本機を気温の低い場所から高い場所に移動したため、レンズ部に露が付いた。	本機を、1～2時間ほど放置し、部屋の温度になじませてから、再度操作してください。
ディスクを挿入後、CD インジケータが2回点滅を3回繰り返して、ディスクが排出される。	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類を確認してください（※ P. 24）。
	ディスクが汚れている、または異物が付着している。	ディスクを取り出し、汚れを拭きとってください。または付着した異物を取り除いてください。
	再生可能なファイルがディスクに入っていない。	再生可能なファイルが入っているディスクを挿入してください（※ P. 24, 25）。
	ディスクが裏返しに挿入されている。	ラベル面を手前にして挿入してください。
ディスクを挿入後、前面ディスプレイに「Err」と表示される。	内部でエラーが発生した。	▲でCDを取り出してください。

USB 機器の再生

症状	原因	対策
USB 機器内のMP3/WMAファイルが再生できない。	USB 機器が認識されていない。	本機をスタンバイにしてUSB機器を取り外してください。その後、電源オンにしてUSB機器を接続し直してください。 USB機器にACアダプターが付属している場合、ACアダプターを接続してください。
USB 機器を接続後、USB インジケータが2回点滅を3回繰り返す。	本機に対応していないUSB機器を接続した。	本機を1度スタンバイにしてからUSB機器を接続し直してください。もし、再度同じ症状が現れた場合は、接続されたUSB機器は使用できません。
	再生可能なファイルがUSB機器に入っていない。	再生可能なファイルが入っているUSB機器を接続してください（※ P. 24, 25）。

Bluetooth

症状	原因	対策
本機と接続機器がペアリングできない。	すでに他の機器と接続している。	他のBluetooth接続を切断してください。
	接続機器がA2DPに対応していない。	A2DPに対応した機器とペアリングしてください。
	Bluetoothアダプターなどの機器でバスキーが「0000」以外になっている。	バスキーが「0000」の機器をご使用ください。
	本機と接続機器の距離が離れすぎている。	接続機器を本機に近づけてください。
	2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの（電子レンジ、無線LAN機器など）がそばにある。	本機を電磁波を発するものから離して設置してください。

症状	原因	対策
Bluetooth 接続ができない。	接続機器が本機の Bluetooth に対応していない。	ヤマハホームページをご参照ください。
	本機が接続機器の Bluetooth 機器リストに登録されていない。	再度ペアリングを行なってください (※ P. 10)。
	すでに他の機器と接続している。	他の Bluetooth 接続を切断してください。
	接続機器の Bluetooth 設定がオフになっている。	接続機器の Bluetooth 設定をオンにしてください。
	ペアリング情報が消えた。	再度ペアリングを行なってください (※ P. 10)。 本機は最大 8 台の接続機器とペアリングできます。9 台目の接続機器とのペアリングが成功すると、接続した日時がもっとも古い機器のペアリング情報が削除されます。 iPhone、iPad、iPod touch の場合、本機とのペアリング履歴を削除し、再度本機とペアリングしてください。
音が出ない、または音が途切れる。	本機と接続機器との Bluetooth 接続が切断された。	接続し直してください (※ P. 12)。
	本機と接続機器の距離が離れすぎている。	接続機器を本機に近づけてください。
	2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの (電子レンジ、無線 LAN 機器など) がそばにある。	本機を電磁波を発するものから離して設置してください。
	接続機器の Bluetooth 設定がオフになっている。	接続機器の Bluetooth 設定をオンにしてください。
	接続機器が Bluetooth 信号を本機に送っていない。	接続機器の Bluetooth が正しく設定されているか確認してください。
	接続機器の出力切替が本機になっていない。	接続機器の出力切替を本機にしてください。
	接続機器の音量が小さすぎる。	接続機器の音量を上げてください。

FM/AM 放送局の受信

症状	原因	対策
雑音が多い。	アンテナが正しく接続されていない。	アンテナが正しく接続されていることを確認してください (※ P. 6、7)。または、市販の屋外アンテナを使用してください。
ステレオ放送になると雑音が多くなる。	選択している放送局の電波が弱い、またはお住まいの地域の放送局の受信感が良くない。	手動チューニングで雑音を軽減するか (※ P. 13)、市販の屋外アンテナを使用してください。
屋外アンテナを使用しても受信感が悪い (音が歪むなど)。	マルチパス (多重反射) などの妨害電波を受けている。	アンテナの高さや方向、設置場所を変えてください。

リモコンの操作

症状	原因	対策
リモコンで本機を操作できない。	リモコンの操作範囲外から操作しようとしている。	リモコンの操作範囲については、「リモコンを使用する」(※ P. 3)を参照してください。
	本機のリモコン受光部 (※ P. 3) に直射日光や照明があたっている。	照明または本機の向きを変更してください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。
	リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。

ディスクおよび USB 機器について

ディスクに関するご注意

本機は下記のロゴのついた音楽 CD、CD-R/RW* を再生できます。



* ISO 9660 フォーマットの CD-R/RW



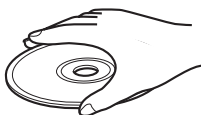
ディスクのロゴマークは、ディスクやディスクのジャケットに印刷されています。

ご注意

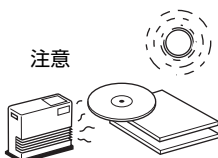
- 本機の故障やディスクの破損の原因となりますので、上記以外のディスクは使用しないでください。
- ファイナライズされていない CD-R や CD-RW ディスクは再生できません。ファイナライズとは、各ディスクの再生対応機器で再生できるように処理することです。
- 信頼できるメーカーのディスクを使用してください。録音状態やディスクの特性によっては、再生できない場合があります。
- ハート型などの特殊形状のディスクは使用しないでください。
- 表面に傷のあるディスクは使用しないでください。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- 8 mm ディスクは使用しないでください。

ディスクの取扱いについて

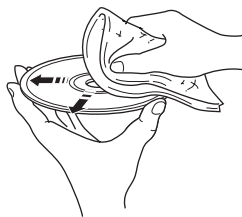
- ディスクを持つときは、ディスクの縁や中央の穴を持つようにし、表面に触れないでください。
- ディスクに鉛筆などで字を書かないでください。
- ディスクにテープやシールなどを貼ったり、のりなどをつけないでください。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わないでください。
- ディスク以外のものを CD 挿入口に入れないでください。
- ディスクを保管する際には、直射日光のあたるところや温度の高いところ、湿気やほこりの多いところは避けてください。



注意



- ディスクが汚れたときには、乾いた柔らかい布で中心から外側へふいてください。レコードクリーナーやシンナーなどは使わないでください。
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーなどは使わないでください。
- ディスクは 1 枚だけ挿入してください。2 枚以上重ねて挿入すると故障の原因となり、ディスクを傷つけることにもなります。



USB 機器に関するご注意

USB 再生対応機器について

本機で再生できる機器は、USB マスストレージクラスに対応し、データが FAT16 または FAT32 ファイルシステムで記録されているフラッシュメモリ、ポータブルオーディオプレーヤーです。

USB 機器への電源供給：MAX 1A (エコスタンバイ時を除く)

ご注意

- お使いの USB 機器によっては正常に動作しないことがあります。
- USB マスストレージクラス以外の機器 (USB チャージャーや USB ハブ)、PC、カードリーダー、外付け HDD など本機に接続できません。
- USB 機器を本機と接続して使用しているときに、USB 機器のデータを消失あるいは損傷した場合、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- すべての USB 機器に対して、動作および電源の供給を保障するものではありません。
- 暗号化機能付きの USB 機器は使用できません。

MP3 および WMA ファイルについて

ご注意

- 本機は以下のファイルに対応しています。

ファイル	ビットレート (kbps)	サンプリング周波数 (kHz)
MP3	8-320**	16-48
WMA	16-320**	22.05-48

- ** 固定および可変ビットレートに対応しています。
- 本機が表示できるファイルおよびフォルダは以下の通りです。

	データ CD	USB
最大ファイル数	512	9999
最大フォルダ数	255	128
1 フォルダ内の最大ファイル数	511	255

- 著作権保護がされているファイルは再生できません。

主な仕様

◆ プレーヤー

CD

- ・メディア.....CD、CD-R/RW
- ・オーディオフォーマット.....オーディオ CD、MP3、WMA

レーザー

- ・タイプ.....半導体レーザー GaAs/GaAlAs
- ・波長.....790 nm
- ・出力.....7 mW

USB

- ・オーディオフォーマット.....MP3、WMA

AUX

- ・入力端子.....3.5 mm ステレオミニジャック

◆ Bluetooth

- ・Bluetoothバージョン.....Ver. 2.1 +EDR
- ・対応プロファイル.....A2DP
- ・対応コーデック.....SBC、AAC、aptX®
- ・無線出力.....Bluetooth Class 2
- ・対応コンテンツ保護.....SCMS-T 方式
- ・最大通信距離.....10 m (障害物がないこと)

◆ NFC (近距離無線通信)

- ・対応機種.....NFC 対応 Android 機器 Ver. 4.1 以降
- ※ 機種によっては動作しない、または接続可能な距離が異なる場合があります。

◆ アンプ

- ・最大出力.....15 W + 15 W
(6 Ω 1 kHz、10% THD)

◆ チューナー

受信周波数範囲

- ・FM.....76.0 ~ 95.0 MHz
- ・AM.....531 ~ 1611 kHz

◆ 総合

- ・電源電圧 / 周波数.....AC 100 V、50/60 Hz
 - ・消費電力.....17 W
 - ・スタンバイ時消費電力 (時計表示オン、Bluetooth 接続待機).....2.4 W
 - ・エコスタンバイ時消費電力 (時計表示オフ).....0.4 W
 - ・電力制御時間 (オートスタンバイ移行時間).....約 20 分
 - ・音声入力がない場合.....約 8 時間
 - ・本体を操作しない場合.....約 8 時間
 - ・ヘッドフォン端子.....3.5 mm ステレオミニジャック (適合インピーダンス 16 ~ 32 Ω)
 - ・外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き).....400 × 180 × 137 mm
 - ・質量.....3.0kg
- 仕様、および外観は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

iPad、iPhone、iPod touch は、米国およびその他の国々で登録されている Apple Inc. の商標です。
iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

Android および Google Play は、Google Inc. の商標です。



© 2013 CSR plc and its group companies.
aptX® およびロゴマークは CSR 社またはそのグループ会社の商標または各国の登録商標です。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めるのも一つの方法です。音楽はみんな楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

本機のスピーカーには磁石が使われています。磁気の影響を受けるもの (ブラウン管テレビ、時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなど) をラックの上に置かないようにしてください。

Bluetooth について

- Bluetooth とは、無許可で使用可能な 2.4 GHz 帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行なうことができる技術です。
- Bluetooth は、Bluetooth SIG の登録商標でありヤマハはライセンスに基づき使用しています。

Bluetooth 通信の取り扱いについて

- Bluetooth 対応機器が使用する 2.4 GHz 帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。Bluetooth 対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- 本機はすべての Bluetooth 機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

対応コーデックについて

- 本機は aptX[®] コーデックに対応していますが、接続する機器によっては、ワンセグなどの音声が再生できない場合があります。その場合は接続機器の aptX 設定をオフにして、接続し直してください。

本機の無線方式について



- [2.4] 2.4 GHz 帯を使用する無線設備
 [FH] 変調方式は周波数ホッピング (FH-SS 方式)
 [1] 想定干渉距離が 10 m 以内



.... 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

無線に関するご注意

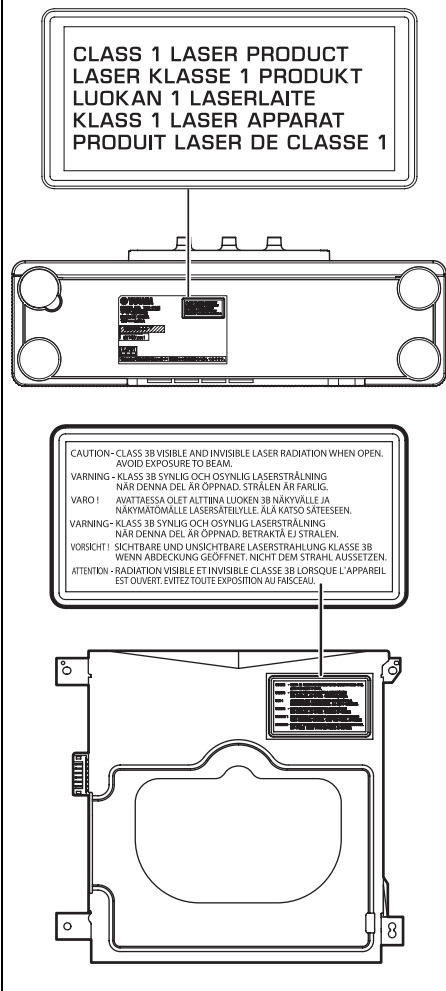
この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

ご注意

この取扱説明書に記載されている以外の調節や操作は、有害な放射を引き起こす可能性があります。

製品ラベルは本体の底面に掲示してあります。



お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■お客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口



0570-011-808

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。
ぜひご覧ください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター



0570-012-808

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄地域にお住まいのお客様
(06) 6465-0367

修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラクタールミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター

〒554-0024 大阪市此花区島屋6-2-82
ユニバーサル・シティ和幸ビル9F
FAX (06) 6465-0374

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

- **保証期間**
製品に添付されている保証書をご覧ください。
- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- **修理料金の仕組み**
技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示しております。
- **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。
- **消耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する消耗部品(下記参照)が使用されています。消耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を永らく安定してご愛用いただくためには、定期的に消耗部品を交換されることをおすすめします。
消耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

消耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中区中沢町110-1



© 2015 Yamaha Corporation

ヤマハ株式会社
Printed in China ZR52530